

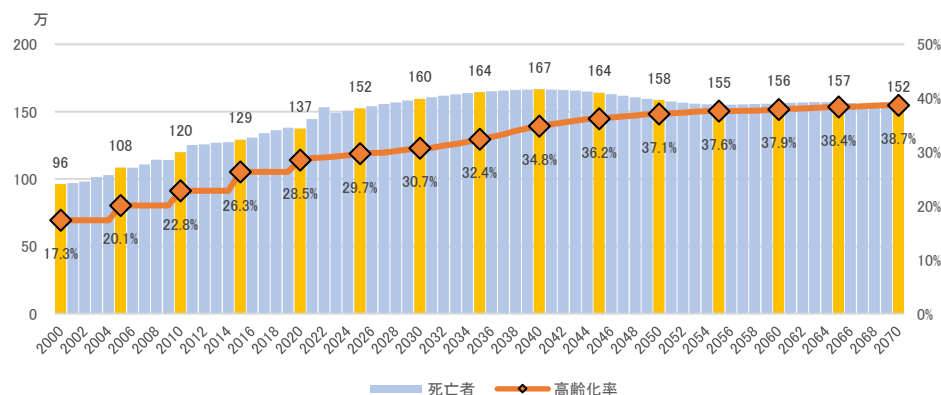
4. 多様化する「生」と「死」

医療技術やデジタル技術の発展、価値観の多様化により、私たちには現実世界だけでなく、デジタルの世界でも様々な死の問題に直面するようになる。本項では、これからの社会における「死」の姿を考察する。

(1) 多死社会の火葬行列

日本は既に多死社会に突入している<図表 7-2 5>。死亡者数のピークは2040年の166.5万人で、その後はゆるやかに減少に転じるが、2050年の158.5万人から2070年の152.1万人まで150万人超で推移する¹¹⁶。多死の問題は地方部よりも、今後も人口集中の続く都市部で特に深刻になる。大量の死者の処理に向き合わなければならないためだ。

図表 7-2 5 日本の死亡者数の推移



(注) 日本人人口の出生中位・死亡中位推計に基づく

(出典) 2020年までは国勢調査、2021年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（2023年4月）より当社作成

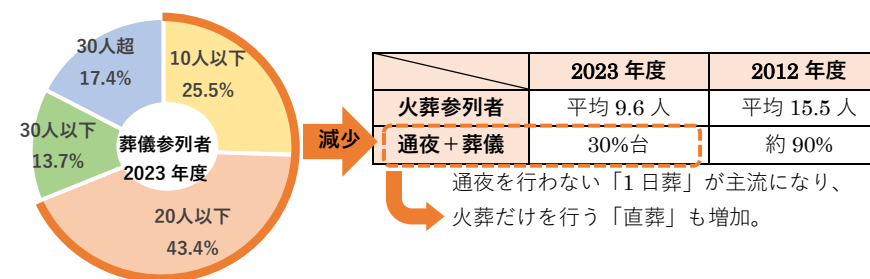
◆葬儀の縮小と斎場とのミスマッチ

都内の港、品川、目黒、世田谷、大田の5区が共同で運営する臨海斎場では、大規模な増築工事と改装工事を行う。増築により、火葬炉を既存の10基から20基に倍増させる¹¹⁷。都心の5区の死亡者数は2060年代前半にピークを迎え、日本全体の推計よりも長く増加が続く。火葬件数は2022年の9,841人から、2060～2064年には年間平均1万4,444人にのぼると推計されている。現在でも平均6日程度の火葬待ちが発生しているが、死亡者が増える冬季（11～2月）には火葬需要はさらに増える¹¹⁸。

斎場の逼迫は文化的な要因も大きい。例えば、友引の日は避けられるため稼働率が落ちる。また、一般的には葬儀のあとに火葬が行われるため、朝の時間帯は火葬場が空いていることが多く、一方で遅い時間帯に葬儀を行う人は少ないため、利用希望者は12時台～14時台に集中している¹¹⁹。

既存設備の改装の目的には、増加する死亡者への対応だけでなく、葬儀のトレンドの変化への対応も含まれる。核家族化や近所付き合い、職場付き合いの希薄化などにより葬儀の規模は縮小している<図表 7-2 6>。臨海斎

図表 7-2 6 縮小する都会の葬儀



(出典) 品川区地域振興部戸籍住民課「臨海部広域斎場組合施設整備基本方針（案）について」（2024年2月26日）より当社作成

¹¹⁶ 国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）」（2023年4月）。日本人人口の出生中位・死亡中位推計に基づく。

¹¹⁷ 品川区地域振興部戸籍住民課「臨海部広域斎場組合施設整備基本方針(案)について」（2024年2月26日）

¹¹⁸ 前掲注 117。火葬待ちの日数は、式場の予約とセットの場合の日数。直葬（火葬のみ）の場合は、利用者の時間的制約が少ないため、待機日数は短縮される。

¹¹⁹ 前掲注 117

場では既存の部屋を細分化し、多目的室を増やす改装を行うことで、従前よりも収容人数を減らして部屋数を増やし、将来に向けた地域の需要に応える。

◆建て替え・新設も困難に

同じ東京都でも、多摩地区や市町村になると様相は異なる。

現代の都市計画制度では、火葬場は都市施設的一种である。そのため、敷地が都市計画区域内の場合には、都市計画決定のために周辺住民の同意を得る必要がある。この点が老朽化や容量不足の斎場の建て替えや新設を困難にしている。例えば、日野市営火葬場は、周囲が宅地化される以前の大正 11 年から現在の敷地にあった。現在の建物は昭和 39 年に開業し、火葬炉は 3 基しかない¹²⁰。昭和に入って周囲が宅地開発されたが、火葬場の存在が都市計画決定されていないために建替えが困難な状況にある。また、民営の多磨葬祭場も昭和 6 年の建設で、大規模改修や耐震補強などは行われているが、都市計画決定がされておらず、規模の拡大や建替えが難しい状況にある¹²¹。

縁起を重視する日本人にとって、火葬場は忌避されがちな施設であるため、周辺住民の理解を得ることが難しく、一般的に竣工までに 10 年以上かかるとされる。府中の森市民聖苑では地域住民のための公園と一体整備することにしたものの、計画から完成まで 21 年を要した¹²²。過去に計画がありながら、建設自体を断念した自治体も存在する。

多死社会のインフラ整備は、このように一筋縄ではいかない事例も多々ある。臨海斎場でも基本方針を策定したのは 2018 年だが、増築部分の供用開始は 2030 年となっており、12 年を要する見込みである。一方で、人口動態に基づく自地域の死亡者数のピーク時期はほぼ正確に見込める。そのため、

各種調整に時間を要したことで着工が遅延し、ピーク期までの使用期間が短くなるのであれば、現行設備で凌ぎ、新設や増築を諦める自治体も多く発生する可能性がある。

1 週間以上の火葬待ちが発生し、友引の日の夕方に茶毘に付されるような、そんな状況もやむを得ないのが、これからの日本の姿である。

（2）埋葬の多様化～変わる価値観と流入する新たな価値観～

◆先進国の埋葬は、負荷軽減がキーワード

葬送と埋葬の問題は、今後、急速に高齢化が進む日本以外のアジア諸国においても社会問題となっていく。札幌市とほぼ同じ面積¹²³に 3.5 倍の 750 万人が住む香港では、高齢者の数が 145 万人（2021 年）から 274 万人（2046 年）と 25 年間でほぼ倍増すると予想されている¹²⁴。2010 年代後期から既に墓や納骨堂の確保が難しくなっているが¹²⁵、現地では「落叶归根（落ち葉は根に帰る）」「入土为安（土に埋められ安らくなる）」という 2 つのことわざに集約される価値観があり、人は故郷に戻って埋葬されることで極楽往生できるという考えが根強い。こうした中、香港特別区政府は、古来の風習を捨て、グリーン葬への移行を市民に積極的に働きかけている（図表 7-27）。

グリーン葬の手法としては、指定された海域に散骨を行う海洋葬、指定の墓地に遺

図表 7-27 グリーン葬のプロモーションサイト



（出典）香港特別区 食品環境衛生局
Green Burial ホームページ

¹²⁰ 東京市町村自治調査会「多摩・島しょ地域における火葬場の需給及び運営に関する調査研究報告書」（2015 年 3 月）

¹²¹ 前掲注 120

¹²² 前掲注 120

¹²³ 香港特別区センサス統計局ホームページ。約 1,100 km²

¹²⁴ 香港特別区センサス統計局 “Hong Kong population projections for 2022-2046”, Aug.15, 2023。外国人家事労働者を除く 65 歳以上の高齢者の数。

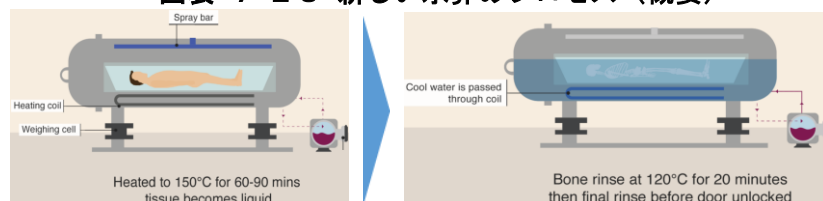
¹²⁵ BBC “香港一墓难求 海上墓園能否改变“入土为安”？”，2018 年 4 月 5 日

骨を撒き、墓石の代わりに樹木や芝生、花などを植える樹木葬が代表的である。

物理的な制約からだけでなく、価値観の変化から選択される埋葬方法も変わってきている。かつては土葬が主流であった北米や英国でも、土葬墓地のスペース不足に悩む地域が出てきているが、それだけでなく、棺に遺体を収める際のエンバーミング（防腐処理）に多くの化学物質が使われること、棺にも多くの金属パーツが含まれることから¹²⁶、土葬は土壤汚染に繋がるという意識が広まり、火葬やグリーン葬を選択する人が増えている。

さらに、環境負荷の低い新たな埋葬方法として合法化が進むのが、新しい水葬（Aquamation）である¹²⁷。アルカリ加水分解により、皮膚や筋肉は溶かして液体化し、骨だけを取り出す手法で〈図表 7-28〉、化石燃料を燃やすことが無く火葬に比べてエネルギー消費が少ないこと、温室効果ガスを排出しないことなどがメリットである¹²⁸。

図表 7-28 新しい水葬のプロセス（概要）



（出典）BBC, “Dissolving the dead A radical alternative to burial and cremation”, May.22, 2017.

少子高齢化が進む日本においても、単身世帯や跡継ぎのいない家庭が増加している。また、子孫がいる場合も墓の管理という負担を残さないよう墓じ

まいを始める人が増えている。代わって、台頭してきているのがグリーン葬で、故人の好みを反映できる選択肢が多い点も魅力となっている。

先進国におけるグリーン葬は、物理的な側面と市民の内面の変化の両面から、これからも支持を得て拡大していきそうである。

◆多文化共生と埋葬文化の問題

2024年8月、大分県日出町で新たな町長が誕生した。町民の支持を惹きつけた新町長の政策の1つが、前職が承認したムスリム向けの大規模土葬墓地のための土地の売却を撤回させることである¹²⁹。

日本における在留外国人の中では少数派ではあるが、ムスリムの割合の高いインドネシア、バングラディッシュ、パキスタンからの在留外国人だけで既にその人口は20万人を超えている。

ムスリムが亡くなった場合、棺に入れるのではなく、イスラム教の戒律に従い、聖水で清めた遺体に布を巻き、顔をメッカの方角に向けて埋葬することとなっている¹³⁰。日本では、ごく一部に土葬の風習が残る地域があるものの火葬が99.97%を占めており¹³¹、土葬に適した墓地は極めて限られている。

日出町では、反対派の人々あいだで、水源の汚染に対する懸念が強く残っていた¹³²。これについては実際には汚染が確認されなかったとの指摘もあるが¹³³、火葬場と同様、死に関連する施設の新設は忌避されがちで、地元住民の合意を得ることが困難な中、さらに異文化の埋葬施設とあって、地域住民の理解が進まなかった事例の1つである。

¹²⁶ GREEN BURIAL COUNCI, “Green Burial Defined”.

¹²⁷ BBC, “Dissolving the dead A radical alternative to burial and cremation”, May.22, 2017

¹²⁸ 前掲注 127

¹²⁹ 読売新聞「大分県日出町の新町長、イスラム教徒の土葬墓地に反対…町有地売却は「許可しない方向で考える」」（2024年8月27日）

¹³⁰ 小谷みどり「増加する在日モスリムとどう共生するか」（2018年7月）

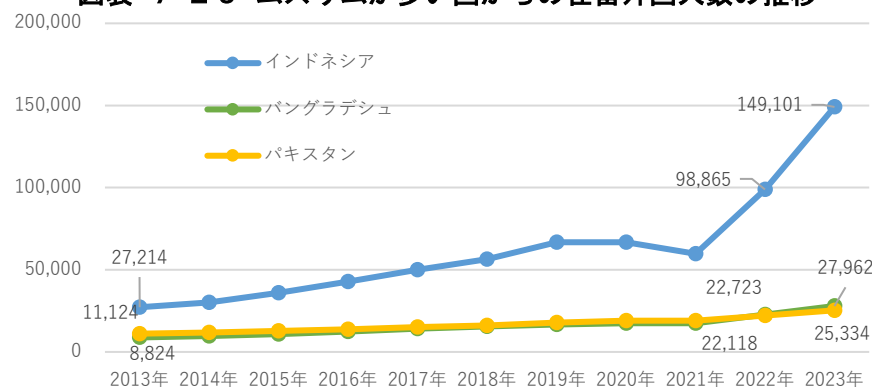
¹³¹ 厚生労働省「令和4年度衛生行政報告例の概況」（2023年10月）。2022年度の死体・死胎総数の火葬と埋葬の割合。

¹³² 安部てつや「日出町に建設が計画されている大規模土葬墓地について」（2024年6月16日）

¹³³ 梅津天馬ら「ムスリムの土葬墓地受け入れ問題について」（全日本自治団体労働組合第39回地方自治研究全国集会（静岡自治研、2022年）。なお、前町長が半ば独断で土地の売却手続きを進めた点については違法性が指摘されている。

東南アジアや南アジアから日本へ移るムスリムの人口は増加の一途を辿っている<図表 7-29>。多文化共生社会の実現が叫ばれるようになったが、共生の行きつく先では、地域に暮らす様々な人々の多様な死の風習にも向き合わなければならない。日本人の死後のイベントは簡略化や縮小が進んでいるが、一方で、宗教上の理由から妥協できない新しい住民たちとの軋轢が、今後、日本の各地で社会課題となることが予想される。

図表 7-29 ムスリムが多い国からの在留外国人数の推移



(出典) 出入国在留管理庁より当社作成

(3) 死なない自由

◆蘇りへの期待

科学は死をも克服するか——将来の医療や科学技術の発展と蘇生を期待して、現世で一度死を迎えたあと、液体窒素によって代謝や老化を止めたまま、身体や脳、神経細胞などを長期冷凍保存している人々がいる。クライオニクス(Cryonics)と総称されるこのサービスは、SFのようなアイデアだが、決して新しいものではない。

クライオニクスは、Robert C.W. Ettinger の著書「不死の展望(The

Prospect of Immortality, 1962 年)」で広く知られるようになり、米国では Ettinger が立ち上げた CRYONICS INSTITUTE (1976 年創設) とアルコール延命財団 (1972 年創設) の 2 つの民間施設が、ロシアでも民間の KrioRus (2006 年創設) が世界中からクライオニクスの希望者を受け入れている。この 3 施設で 584 人以上が保管されている¹³⁴ <図表 7-30>。日本からも、少なくとも CRYONICS INSTITUTE に 5 名が会員登録をしており、KrioRus では女性 1 名を保管中である。

図表 7-30 クライオニクスの冷凍保管装置



その後もクライオニクス (出典) Yinfeng Life Continuation Plan ホームページ 実用化への挑戦は、世界的な広がりを見せている。中国のバイオテクノロジー企業 Yinfeng Biological グループは、前述の米国施設から研究者を招聘し、銀豊生命科学研究所を立ち上げた。2017 年に肺がんで亡くなった女性を冷凍保存したのが最初の事例となったが、既に 600 人超の検体ボランティアの登録があるという¹³⁵。精華大学など複数の名門大学のほか、中国科学院や人民解放軍病院など政府機関や軍とも協力して研究を進めている点で米露の 3 施設とは性質が異なる。

2024 年には、南半球初のクライオニクス企業 Southern Cryonics も始動した。5 月 12 日に死亡が確認された初のユーザーは、即日で同社に搬送され、5 月 17 日には全身を長期保存するための処置が完了された¹³⁶。

未だ、蘇った人はいない。しかし、歴史の長い米国では、蘇りに向けた金融サービスも充実している。生命保険の分野では、クライオニクス施設を保

¹³⁴ 各社ホームページ。全身のほか神経組織や脳のための保管者も含まれた数値だが、CRYONICS INSTITUTE が 254 人 (2024 年 4 月時点)、アルコール延命財団が 233 人 (2024 年 5 月時点)、KrioRus が 97 人 (2024 年 7 月時点) となっている。

¹³⁵ 銀豊生命科学研究所ホームページ<<https://www.yinfenglifecryonics.org.cn/>>

¹³⁶ Southern Cryonics “Southern Cryonics/CryoPath first suspension”, May.21, 2024.

陰金受取人に指定することで、保管費用を賄う手段とすることが受け入れられている。また、数十年後、無事に蘇生できたとして、身寄りも無く、無一文では生活できない。冷凍前に築いた資産を後世で本人が利用できるようにする復活信託（Revival Trust）を扱う弁護士も存在する¹³⁷。こうした蘇る未来に備えるサービスは、今後も拡充されていく可能性がある。

◆不老不死の追求がもたらす恩恵

蘇りや不老不死は究極の目的だとして、長期冷凍された身体の復元技術の進歩への期待は、臓器バンクの実現にあるのではないだろうか。

現在の臓器移植は、親族間で予め取り決めされた生体移植を除いては、ドナーが亡くなってから、レシピエントとの適合性や、双方の病院の設備、臓器の輸送手段の確保などの諸条件が短時間に揃った時にしか実現しない。しかし、長期冷凍されたドナーの臓器とマッチングできるようになれば、多くの命が移植によって救われる可能性がある。

冷凍工程では、ガラス化凍結法が実用化されており¹³⁸、細胞の損傷に繋がる水分の結晶化を生じさせない急速冷凍が可能となっている。蘇りに向けた難所は、冷凍状態から細胞や臓器を損傷なく加温していく工程にある。2023年、画期的な研究成果が Nature Communications 誌に掲載された。交替磁場を利用して臓器血管内のナノ粒子を迅速かつ均一に加温する「ナノ加温」により、100日間冷凍保存されたラットの腎臓を、別のラットに移植する手術を成功させたのである¹³⁹。

2050年に向けては、再生医療の進歩も見込まれるが、クライオニクスを通

じた人体の長期冷凍と加温・蘇生技術の研究もまた、毎年亡くなる多くの人々を（もちろん本人の生前の同意のもと）ドナーに転換できる可能性を秘めている。既に生殖医療の分野で実現している卵子や精子の冷凍保存の発展形とも言え、重篤な疾病を抱えた人々に希望をもたらす技術となるだろう。

「204X年に亡くなった男性の臓器が、5年後の今日、無事に5名に移植されました」——そんなニュースが2050年代に流れるかもしれない。

◆デジタル蘇り

肉体的な蘇りよりも簡単に故人を蘇らせるのだとしたら、それはデジタル技術を活用した蘇りであろう。

2024年春、中国では「AI 復活亲人（AIで愛する人を復活させる）」サービスが話題となった。3月、AIユニコーン企業 SenseTime の年次総会で、創業者の湯曉鵬氏がスピーチを行った<図表 7-3 1>。実は、湯氏は2023年12月に病死していた。しかし、同社のAI動画生成プラットフォーム「商湯如影」は、生前の画像と音声からリアルな湯氏のスピーチ動画を生成し、ユーモアを交えた語り口は、時に会場に笑いを巻き起こした¹⁴⁰。

図表 7-3 1 生成AIによる
湯曉鵬氏の演説



（出典）SenseTime 公式 Wechat

翌4月の清明節には、「AI 復活亲人」がブームとなり、多くのマスコミの

¹³⁷ Cassady Law Offices ホームページ<<https://www.cassadylawoffices.com/>>

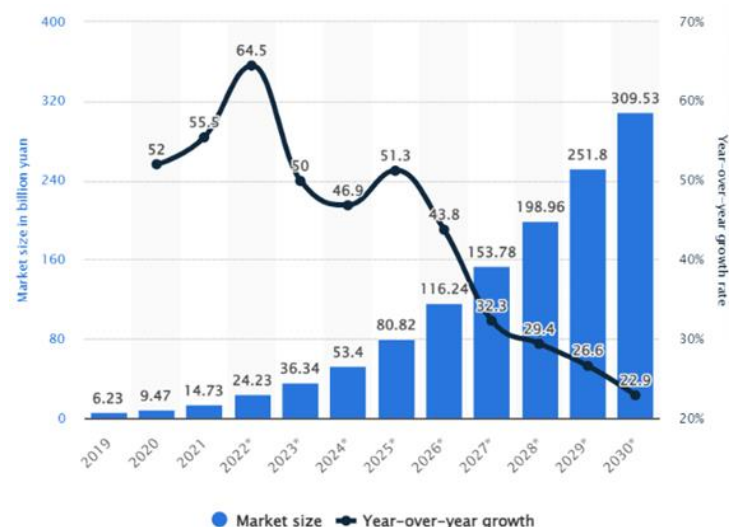
¹³⁸ 高濃度の DMSO、アセトアミド、プロピレングリコールなどを組み合わせた溶液を用い、細胞を液体窒素に直接浸漬し、急速に冷却することで、水分を結晶化させずにガラス化状態で凍結する方法のこと。卵子の保存などの生殖医療のほか、再生医療の研究等でも利用されている。（今松伸介「霊長類 ES/iPS 細胞の凍結保存」（日本生物工学会生物工学会誌 2012 年 9 月号））

¹³⁹ Han, Z., Rao, J.S., Gangwar, L. et al., “Vitrification and nanowarming enable long-term organ cryopreservation and life-sustaining kidney transplantation in a rat model”, Jun.9, 2023.

¹⁴⁰ SenseTime 公式 Wechat “商汤 2024 年会，拾阶而上，一路繁花”，2024 年 3 月 2 日

話題をさらった。清明節は日本のお盆にあたる祝日で、生成 AI の進化と亡くなった家族や祖先と対話したい中国の人々のニーズが合致した。クオリティにも価格にも幅があるが、10 元（約 210 円）から 1,000 元（約 21,000 円）と手頃に試すことが可能なサービスとなっている¹⁴¹。こうした地域に根差した文化的な背景もあり、中国では AI を活用したバーチャルな人物の蘇りが今後ビジネスとして大きく成長すると見込まれている（図表 7-3 2）。

図表 7-3 2 中国におけるバーチャルヒューマン市場の予測



（出典）statista

バーチャルな蘇りにビジネスチャンスを感じている人物は他にもいるようだ。米 Meta のマーク・ザッカーバーグ CEO は「愛する人を亡くして悲しんでいる人にとって、交流したり、特定の思い出を追体験したりすることは役に立つかもしれない」として、メタバース空間での蘇りの可能性に言及している¹⁴²。

このような故人のデジタル蘇りは、生存しているユーザーの意向で利用されるのが主である。故人の尊厳を傷つけていないか、遺族のグリーフケア¹⁴³になるのか結果的に混乱を招くのか、ディープフェイクを量産することに繋がるのではないかなど多くの論点がある。故人のデータを扱うサービスの是非は中国でも議論になり、ザッカーバーグ氏もその難しさを認識している。

しかしながら、生成 AI などの先端技術を使ったサービスは、ニーズさえあれば市場を形成し、ルール作りよりも先に発展してしまう。2050 年に向けて、多くの議論を呼び起こしながらも、このような画像や動画は出回り続けるだろう。

（4）死を選択する権利 ～広がる安楽死の合法化～

リスクを承知で未来に賭ける蘇りよりも切実な命の選択がある。安楽死である。いわゆる「安楽死」には 2 種類がある。1 つは積極的安楽死で、医師等が致死量の薬物を患者に投与する。もう 1 つは医師等による自殺ほう助である。自殺ほう助とは、例えば、致死量の薬物が入った点滴の針を患者の体に刺すところまでは医師等が行うが、投与を始めるためのバルブを開く最後のステップは患者自身が行う。なお、「尊厳死」は安楽死とは異なる概念で、延命措置を取りやめて、自然な経過に任せて死を迎えることを指す。

そのため、安楽死に対しては、医療従事者が殺人罪や自殺ほう助罪に問われないための刑法上の例外措置が必要になる。また、処置を行うに至るまでの診断や意向確認などのプロセスの確立も倫理的な面から重要である。さらに、医療従事者の信仰や信条に配慮することも必要である。合法化された国・地域では、勤務先の医療機関が安楽死に対応している場合でも、個々の医療従事者には担当をはずれる権利が認められている。

¹⁴¹ 上海証券報「“AI 復活亲人” 产业兴起 硅基生命时代到来？」，2024 年 4 月 4 日

¹⁴² Business Insider “Mark Zuckerberg agreed it could be possible to use the Metaverse to bring back the dead virtually”, Oct. 2, 2023.

¹⁴³ 喪失による悲嘆（グリーフ）に対するケアのこと。ここでは、近親者との死別を経験した遺族の悲嘆に対するケアのことだが、ペットとの死別や失恋などでも必要となることもあり、悲嘆の発生原因やその深さは個性が高い。

このような重たい議論を要する安楽死だが、スイスやベルギーのように外国人を受け入れる国・地域は少ないものの、自国民のための選択肢として法整備を進める動きは大きな世界的潮流となっている。特に、2020年代に入って欧州とオセアニアで容認の動きが拡大している<図表 7-3 3>。制度導入の早かったベルギーやオランダでは対象事案の拡大も進んでいる。安楽死の申請には、深刻な「苦痛（英：suffering、仏：souffrance）」を抱えていることが条件となっている。その定義は、「絶え間なく、耐え難く、治療法がないもの」¹⁴⁴、「耐えがたく、改善の見込みが無いもの」¹⁴⁵と規定されており、個別の状況に鑑みた解釈の余地がある。いずれも本人の意思が確認できることが条件となっているが、パーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症（ALS）のような進行性の神経難病、末期がんの患者だけでなく、精神疾患、認知症などの加齢に伴う症状も対象に含まれる。さらに、保護者の同意や意志決定プロセスへの関与を条件とするものの、オランダでは12歳以上¹⁴⁶、ベルギーでは年齢に下限なく安楽死が認められている¹⁴⁷。

広範な事例を扱うベルギーやオランダでも、精神疾患を唯一の苦痛の原因とする安楽死の適用については未だに議論がある。これは、自閉症や知的障がいを持つ人が社会生活に支障を来し、重篤な精神疾患を発症しているケースで安楽死が適用されたため^{148 149}、治療や福祉的なサポートは十分に尽くされたのか、本人の意思や苦痛の認識は十分に確認できたのか、さらには優生思想に繋がるのではないか、といった外部からの批判を呼んでいる。一方で、当事者として関わった医師たちは、当然ながら、担当の患者に対して万策を尽くした上で判断したと主張する。現場の医療従事者がこのような批判に晒されるリスクや刑事罰を問われるリスクを背負わされながらも、安

¹⁴⁴ ベルギー公衆衛生局「Euthanasie-Citoyen」

¹⁴⁵ オランダ政府「Euthanasia」

¹⁴⁶ 前脚注 144

¹⁴⁷ 前脚注 145。なお、本人の意思確認を要しない安楽死として、オランダでは重篤な障がいを持って生まれた新生児に対しても安楽死の措置が認められている。

図表 7-3 3 広がる安楽死法

	
① 積極的安楽死のみ容認	【カナダ】ケベック州
② 自殺ほう助のみ容認	【米国】オレゴン州、ワシントン州、バーモント州、カリフォルニア州、コロラド州、コロンビア特別区、ハワイ州、ニュージャージー州、メイン州、ニューメキシコ州、モンタナ州（判例） 【スイス】（刑法解釈） 【イタリア】【ドイツ】【オーストリア】
③ 両方を容認	【オランダ】【ベルギー】【ルクセンブルク】 【スペイン】【ポルトガル】 【カナダ（ケベック州以外）】【コロンビア】【エクアドル】 【ニュージーランド】 【オーストラリア】ビクトリア州、西オーストラリア州、タスマニア州、南オーストラリア州、クイーンズランド州、ニューサウスウェールズ州 オーストラリア首都特別地域（2025年11月施行予定）

（出典）田中美穂、児玉聡「諸外国の安楽死に関する法制度・データの概況 Ver.1」、
（日医総研リサーチレポート No.117、2021年）を参考に各国政府ウェブサイトから当社作成

¹⁴⁸ BBC, “Belgium euthanasia: Three doctors cleared in landmark trial”, Jan. 31, 2020. 精神疾患を発症した自閉症の女性に対する安楽死の実施について、3人の医師が刑事訴追されていたが、無罪となった。

¹⁴⁹ AP, “Some Dutch people seeking euthanasia cite autism or intellectual disabilities, researchers say”, June. 28, 2023.

楽死の制度は存続している。この事実は、一人一人受け止めが異なる「苦痛」に向き合い、その意志を尊重した選択が社会的に支持されていることを示すものであり、死に対する多様性の受容が進んでいる証左であろう。

◆生きがいなく生きる苦痛と安楽死

安楽死は人々を救うのだろうか——2016年に安楽死法を施行したカナダでは、実施状況を経年でレポート化して丁寧に追っている。人口3,700万人のこの国で¹⁵⁰、2022年には全死者数¹⁵¹の4%（1万3,241人）、実に25人に1人が安楽死を迎えていることになる¹⁵²（図表 7-3 4）。導入からわずか7年のこの件数の伸び方は、安楽死という選択肢の存在がカナダの人々にとっては確かな救済になったと言っても過言ではないだろう。安楽死の処置を受けた人の63.0%はがんを、18.8%は心血管疾患を患っていた。この2つはカナダにおける死因トップ2となっている¹⁵³。

図表 7-3 4 カナダにおける安楽死の件数推移



（出典）Health Canada, “Fourth annual report on Medical Assistance in Dying in Canada 2022”, Oct.2023.より当社作成

注目したいのは、安楽死を選択した理由と処置を受けた場所である。

安楽死を選択した理由で最も多いのは、「身体機能のコントロールの喪失（7位、30.2%）」や「孤立感・孤独感（8位、17.1%）」ではなく、「意味のある活動を行うことができる能力の喪失（1位、86.3%）」であった¹⁵⁴。生きがいを感じられる活動をもはや自分では行えない状態であるのならば、ただ病院などで生かされていることのほうが耐えがたい「苦痛」である、という非常に考えさせられる結果である。

場所については、直近のデータがコロナ禍の影響を受けているため、今後の動向も注視した上で判断する必要があるが、2022年に安楽死を選択した人々は、36.4%が病院で処置を受けている一方で、自宅で処置を受けた人も35.1%と拮抗している¹⁵⁵。周到な準備をして当日を迎えることができる安楽死では、自宅で最期を迎えたいという患者の希望を叶えやすい可能性がある。

安楽死の制度化に向けた議論は、今後も先進国を中心に拡大していくだろう。2024年に入り、フランスではマクロン大統領から¹⁵⁶、英国でもスコットランド議会では安楽死に関わる法案が提出されている¹⁵⁷。こうして見ると、G7の中で、安楽死の制度化に向けた議論に着手できていないのは日本だけということになる。

2050年、もしもあなたが不治の難病に苦しんでいるとしたら、安楽死を選択できる国、できない国、どちらで最期を迎えたいだろうか。あなたの大切な人が耐えがたい苦痛の中で安楽死を選択したいと言ったら、あなたは賛成だろうか、それとも反対するだろうか。安楽死導入の是非は、日本においても、2050年には結論が出されているべき重要なテーマの1つであろう。

¹⁵⁴ 前掲注 152。原文は Loss of ability to engage in meaningful activities。複数選択可能なアンケート結果から。

¹⁵⁵ 前掲注 152

¹⁵⁶ Le Monde “Macron endorses 'aid in dying' bill”, Mar.11, 2024.

¹⁵⁷ スコットランド議会 “Assisted Dying for Terminally Ill Adults (Scotland) Bill”

¹⁵⁰ Statistics Canada。2021年国勢調査では人口36,991,981人

¹⁵¹ Statistics Canada。2022年の総死者数は334,623人

¹⁵² Health Canada, “Fourth annual report on Medical Assistance in Dying in Canada 2022”, Oct.2023.

¹⁵³ 前掲注 152

（５）アカウントと死 ～サイバー空間で生き残る故人とどう向き合うか～

2022年11月、Twitter（現 X）上で世界的な騒動が発生した。イーロン・マスク CEO が、自身に批判的なユーザーのアカウントを規約違反を理由に大量凍結したのである。この行為に対し、国際連合や EU の要人が続々と懸念を表明した¹⁵⁸。

中国では、国民的なスーパーアプリ WeChat のアカウントを凍結された商人が、運営元であるテンセントの本社を訪れたが、アカウントを取り戻すことができず自殺を図っている¹⁵⁹。

様々なデジタルサービスやプラットフォームの利用を開始する際、私たちが当然のように作成しているユーザーアカウントは、サイバー空間での情報発信や交流を可能にただけでなく、決済や事業活動など現実世界での活動をも支配するようになってきている。先の Twitter や WeChat のエピソードは、アカウントという存在の強大さを物語るものである。主力となるデバイスやプラットフォームは変化していても、2050 年に向かう生活の中で、私たちは様々なアカウントを持って、日々を営んでいることだろう。

◆譲渡も相続もできないアカウント

私たちの分身あるいは存在証明とも呼ぶべきアカウントの数々は、死後どうなるのだろうか。

ほとんどのプラットフォームはアカウントを一身専属としており、事由を問わず他人に譲り渡すことを想定していない¹⁶⁰。これはプラットフォーム側が広告配信などパーソナライズしたサービスを展開するために複数ユー

ザーの情報が混じり合うことのない一身専属が都合が良かったことと、ユーザーから見てもアカウントは比較的容易に消去も再作成もできるため¹⁶¹、生存するユーザー向けには譲渡を想定する必要性が低かったものと考えられる。

また、遺族などの相続人がいる場合も、実体がある PC やスマホは相続されるが、その中にインストールされたアプリや画像、音楽などのデータ、そしてそれらを利用するためのユーザーアカウントは無体物であり、相続の対象外である。したがって、故人のアカウントの取扱いは、現状は、各プラットフォームの定める利用規約によってのみ縛られている<図表 7-35>。

図表 7-35 故人のアカウントの取扱い～LINE の場合～



（出典）LINE Safety Center（2024年11月15日時点）

利用規約に基づき、一般的には、遺族等は故人のアカウントの削除を申請することができる。しかし、この申請には、故人の出生証明書や死亡証明書、さらに申請者が故人の正当な法定代理人であることの証明書など、行政手続きさながらの対応が必要となる¹⁶²。その他の取扱いについては、各社で対応方針が分かれる。

¹⁵⁸ 国連グローバルコミュニケーション局事務次長 Melissa Fleming 氏の 2022 年 12 月 16 日ツイート、および欧州委員会副委員長 Věra Jourová 氏の 2022 年 12 月 16 日ツイートなど。なお要人からの反響には言論の自由を侵害しているという指摘も含まれる。

¹⁵⁹ 中国经济网, “21 歳男子微信被封号后坠亡? 腾讯回应!”, 2020 年 8 月 27 日

¹⁶⁰ Apple サポート、Google アカウントヘルプ。なお、ユーザーに若年層が多いためか、Tik-Tok の利用規約には故人に関する規程が無いようである。

¹⁶¹ 金融・決済機能を伴う WeChat や Alipay などのスーパーアプリでは、本人確認や身分証の登録が必須となっており、個人が複数のアカウントを持ったり、安易に作り直したりすることは困難である。

¹⁶² X ヘルプセンター、および Instagram ヘルプセンター（2024 年 11 月 15 日時点）

Meta は削除申請も受け付けるが、Facebook にも Instagram にも「追悼アカウント」という概念があり、亡くなったことを明示した上でアカウントを残すことができる¹⁶³。故人のアカウントをアルバムとして残しておきたい遺族や友人のニーズに応えると共に、このデータ保全是「(3) 死なない自由」で取り上げた「デジタル蘇り」など新ビジネスへの布石かもしれない。

一方、X や Google では、強制的にアカウントが削除される場合がある¹⁶⁴。生存中のユーザーのアカウントであっても、次第に閲覧や投稿の頻度が落ちていくものもある。このような非アクティブなアカウントのデータを保有し続けても、データストレージの容量を圧迫するだけで、収益は生まれない。この2社は、運営コスト抑制の観点から削除規程を導入していると考えられる。したがって、故人のアカウントも、プラットフォーム側の条件を満たしたタイミングで消去される可能性がある。

◆プライバシーの無い故人

遺族やプラットフォームが削除手続きを行わない場合、故人のアカウントは所有者不在のまま、公開し続けられることになる。また、故人の趣味での繋がりなど、遺族が存在を知り得ないアカウントもあるだろう。

現行法の下では、人格権の一部としての肖像権、すなわちプライバシー権は故人には認められていない。したがって、故人の尊厳を傷つけるようなバッシングや画像の悪用などが行われた場合も法的な保護がない。EU のGDPR では、「本規則は、死亡した者の個人データには適用されない (Recital 27)」と規定されている。日本の個人情報保護法も「生存する個人に関する情報」に対象を限定しており（第2条（定義））、故人は対象外としている。

したがって、公開され続けた故人の投稿が炎上した場合も、故人は守られない、また、生前のデータをもとに生成される故人の「デジタル蘇り」も、プライバシーの侵害で訴えられるリスク無く行うことができてしまう¹⁶⁵。

——たとえ、故人が生きていたら望まないような言動をさせたとしても。

◆資産価値を持つ小市民のアカウントの増加

故人が俳優やイラストレーター、あるいはインフルエンサーや動画配信者だった場合には、そのアカウントは死後も閲覧、再生され、収入を生み続ける可能性がある。

例外的に故人にも認められる権利として「パブリシティ権」がある。著名人の氏名や肖像には一定の顧客誘引力がある。パブリシティ権は、その利益や価値を利用する「財産権としての肖像権」を認めるものである。

ただし、この権利は判例によって確立されてきたもので、内容・効果・範囲・期間等については明確にはなっていない¹⁶⁶。現状では、実務上は、芸能プロダクションに所属する芸能人であれば、芸能プロダクションがパブリシティ権を管理する場合が多いとされている¹⁶⁷。

将来に向けては、これまでの判例が想定してきた著名人の収入の規模に至らない無数の市民のアカウントが大なり小なりの収益を生み続けるだろう。YouTube を運営する Google では、個社の取組みとして故人のアカウントから資金を取得するための手続きを用意しているが、こうした故人のアカウントに紐づく利益の保護の在り方や相続の問題も、故人の死後の法的論点として、今後より注目されていくだろう。米国法曹協会は、判例の積み上げではなく、知的財産権として連邦法で保護すべきと指摘している¹⁶⁸。

断された事象があった場合には、遺族に対するプライバシー侵害は成立する。

¹⁶⁶ 文化庁「著作権テキスト-令和6年度版-」(2024年)

¹⁶⁷ 前掲注166

¹⁶⁸ American Bar Association “When I Die Put My Money in the Grave: Creating a Federally Protected Post-Mortem Right of Publicity”, April 28, 2023.

¹⁶³ Facebook ヘルプセンターおよび Instagram ヘルプセンター(2024年11月15日時点)

¹⁶⁴ X の場合は6カ月以上利用実態が無いなどの諸条件を満たした場合(X ヘルプセンター)、Google の場合は2年以上ログインが無い場合に(Google アカウントヘルプ)削除される場合がある。(2024年11月15日時点)

¹⁶⁵ 故人に対する不適切な取扱いの結果、生存する遺族のプライバシー侵害に当たると判

◆デジタル時代に追いついていない法規制

本項で取り上げた問題は、デジタル時代に法律が追いついていない分野の一部である。

GDPR の場合は、GDPR の規則に上乗せで、加盟国が独自に故人のデータの取扱いに関する規則を設けることは可能としている。これを受け、フランスでは 2016 年の「デジタル共和国法 (Loi pour une République Numérique)」により、死後のアカウント等の管理人を指名することが可能となっている¹⁶⁹。故人の権利そのものには踏み込んでいないが、所有者・管理者が不在のまま公開され続ける故人のアカウントの問題への対処の一步と言える。Google や Facebook の場合は、個社の取組みとして、死後のアカウントの管理者を指定することもできる¹⁷⁰。これからは、死後のアカウントの扱いを生前に自分の意思で整理しておく重要性も高まってくるだろう。

アカウントに紐づいた私たちの活動は、動画やメタバース空間でのアバターを通じたコミュニケーションなど、テキストや画像という平面から立体化し、よりリアルに広範になっていく。その結果、これからの故人は、多くの無形資産を残して死んでゆく。さらに、その無形資産が、時に大きな価値を生むこともある。

故人の権利保護に関わる問題は、その尊厳にも関わる重要な論点を含んでいる。これまで法的な権利を有する存在ではなかった故人に、様々な権利を認めるための議論には時間を要するだろうが、そのような枠組みが無ければ、未来は故人にとっての無法地帯と化す。2050 年に向けて、新しい保護のかたちが作られることが望まれる。

(6) 乱立するアカウント～自我の死、あるいは分裂する自我～

◆多重人格で生きる不安定な私たち

アカウントは、我々の社会生活に欠かせない存在だが、簡単に消したり、作り直したりもできれば、1つのプラットフォームの中で複数のアカウントを使い分けることもできる。クラスメイトや家族との LINE グループ、ファッションや外食時の画像を中心に投稿する Instagram、ダンス動画を投稿する TikTok、共通の趣味を持つ人と繋がる偽名の X、さらには愚痴や悪口をはき出すための“裏垢”としての X といったように、私たちはいくつものアカウントと人格を使い分けている。そして、そのそれぞれにフォロイー・フォロワーがいて異なるコミュニティに属している。

生きやすさのために、言い換えれば、生きづらさを回避するために複数の人格を使い分ける様は、精神医学の立場から見ると、解離性同一性障害(DID、dissociative identity disorder)、俗に言う“多重人格”と全く同じ原理・現象だと指摘されている¹⁷¹。アカウント社会を生きる人類は、知らぬ間に、不安定な精神状態に置かれるようになっているのかもしれない。

この DID を巡っては、若年層のユーザーが多い TikTok で奇妙なブームが発生している。DID を発症していると名乗るユーザーが、様々な人格で自身が発話する様子を投稿したところ“バズった”。そこから DID を自称する動画の投稿が急激に増え<図表 7-3 6>、50 億回以上再生される動画も現れた¹⁷²。そして、DID をテーマとする動画が繰り返し流れてくるのを見続けた若者が「自分も DID だったのだ」と性急な自己診断をし、医師への診察依頼が殺到したのである¹⁷³。思い込みと誤認に基づくメンタル不調をトリガーとした不健全なコミュニティの形成が進んでしまっている現象は、それ自体が問

¹⁶⁹ フランス政府「LOI n° 2016-1321 du 7 octobre 2016 pour une République numérique (1)」

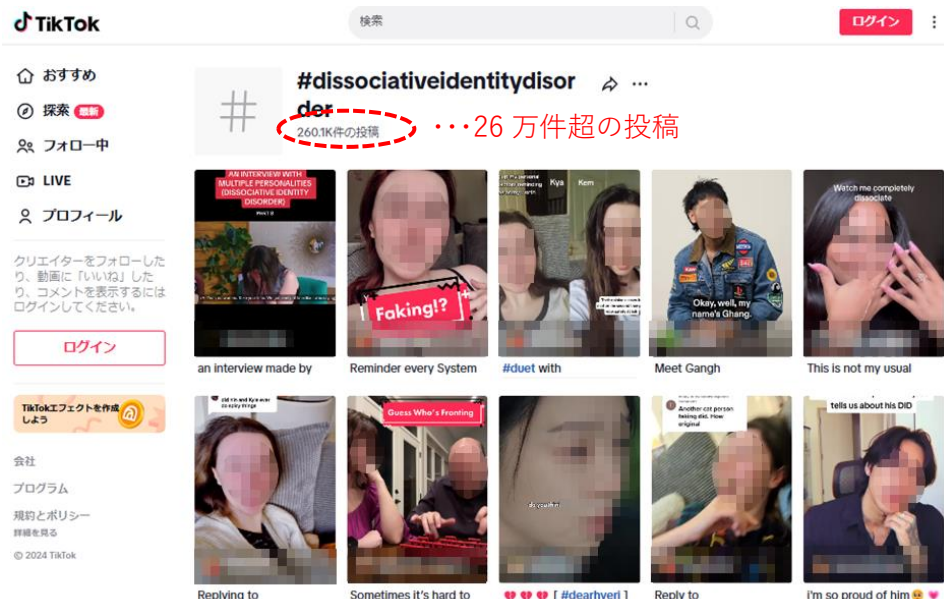
¹⁷⁰ Google アカウントヘルプ、および Facebook ヘルプセンター

¹⁷¹ 斎藤環「「自傷的自己愛」の精神分析」(2022 年)

¹⁷² The Verge “The fight over what’s real (and what’s not) on dissociative identity disorder TikTok”, August 19, 2023. 50 億回再生された動画は削除済みのようである。

¹⁷³ 前掲注 172

図表 7-36 TikTokで蔓延するDID関連の投稿



(出典) TikTok (2024年11月19日時点)

題であると共に、実際に DID を発症している人々への偏見や誤解に繋がる動向として専門家は問題視している¹⁷⁴。

◆「タイパ」の裏側～類型化、簡略化された世界で退化する人間～

PC をベースに比較的長いテキストの投稿が許されたブログや Facebook から、デバイスがスマホが主流になり、アクセス可能な情報量、コンテンツの量は莫大になったぶん、情報発信の形式は短いテキストベースの X、画像投稿の Instagram、短編動画の TikTok と端的な表現が求められている。さらに、投稿された情報は短いハッシュタグで類型化、要約できることが望ま

しい。SNS に囲まれて育ってきた Z 世代は、絶え間ない情報流入の中で集中力をコントロールするために、8 秒しか画面に集中していないという調査がある¹⁷⁵。

つまり、私たちはコンテンツのコンテキストを理解しなくなっている。これは現代人が、大量に流れ込む情報の処理を軽減するために行った無意識的な工夫だったのかもしれないが、私たちは時間をかければ理解できるはずの背景や文脈に思考を巡らせる行為を、日に日に怠るようになっていく。

発信者側の質の悪化も進んでいる。例えば、DID に関する解説動画を比較した場合に、YouTube では有用な内容を含む動画が 51.7% 存在したが、TikTok ではわずか 5.2% であったという研究結果がある¹⁷⁶。

DID ブームのような現象は、フェイクニュースやディープフェイクといった次元の話ではなく、単に真偽不明の質の悪い情報が大量に多く出回っているという発信側の問題と、受け手側の物事を理解するプロセスの省エネ傾向が強まっているという双方の問題を浮き彫りにし、安直に勘違いや誤認を重ねた結果、自分自身のメンタリティに対してさえ倒錯が起きているという新時代の現象である。

複数の人格を操り、大量の情報を受け止めながら社会生活を営む忙しさの中で、人間が人間らしい思考を手放していつている。アカウントもインターネットも手放せない私たちの中で、この傾向が弱まる気配はない。人間が能力を発揮することを手放し、ある種の退化が進んでいる。シンギュラリティとは真逆の方向で、我々は AI に超越を許すかもしれない。

¹⁷⁴ Rolling Stone “Viral ‘Dissociative Identity Disorder’ TikToker Sparks Questions About the Internet’s Effect on Mental Health”, January 15, 2022.

¹⁷⁵ sparks & honey “generation z 2025: the final generation -sparks & honey culture forecast”, 2015.

¹⁷⁶ Isreal Bladimir Munoz, Jasmine Liu-Zarzuela, Navin Oorjitham, Devon Jacob, “YouTube and TikTok as a source of medical information on dissociative identity disorder”, Journal of Affective Disorders Reports, Volume 15, 2024.

◆薄まる自意識～“悪いこと”をしているのは誰なのか？～

複数の人格を使い分け続けた結果、個々の人格の行動に対する責任感や自意識も薄らいでいくのかもしれない。2011年、「共生型ネット社会の実現に向けて」という特集を組んだ総務省「情報通信白書」に「インターネットといじめ」という項目が初めて登場し、小中学生へのアンケート結果が掲載された¹⁷⁷。つまり、少なくともこの数年前からインターネット上でのいじめが社会現象として問題視されていたことになる。

プラットフォームやアカウントごとに人格を使い分けるコミュニケーションの方式は、現実の世界でも個々の人格を単純化、すなわちキャラクター化させた。

このキャラクター化は、子どもたちの関係性とコミュニケーションを単純化するのに役立った。なにしろ、彼らには短いテキストやスタンプ、短時間の動画、数枚の画像といった発信条件が課されている。「いじられキャラ」といった役割分担を相互に理解し、求められるキャラに合った想定内の受け答えしか許されないのが SNS ネイティブな Z 世代の子どもたちのコミュニティである¹⁷⁸。これにより、クラス替えなどの外的作用以外では覆すことが難しいスクールカーストが生まれ、クラスの中やクラス LINE 上でのヒエラルキーが決まってきた¹⁷⁹。その上下関係から、同級生による“いじり”を超えたいじめへと発展するケースもある。

悪質なインターネット上のいじめが社会問題化する中で、加害者の反省を促すのは難しい。その一因として、キャラクター同士のキャラの性質により、そのような力関係に配置されてしまった、という結果論の構図でいじめが発生しており、加害者が殊更意図的に加害行為を行っているわけではないとい

う可能性が考えられる。「自分の中に沢山存在する人格の1つが勝手にやったこと」、「自然にそうなった」、そのような薄い認識しか存在していないのではない。だから、簡単には止められず、何が悪いのかも判別できない。

さて、青少年を取り巻く SNS の世界では 2020 年代に入って深刻なトラブルが発生している。「闇バイト」と称した犯罪行為への勧誘である。

SNS 上で匿名かつ刹那的な繋がりを持って共謀する匿名・流動型犯罪グループ「トクリュウ」が、特殊詐欺やさらには強盗事件などの凶悪犯罪を全国で繰り返すようになっており、社会問題化している¹⁸⁰。2024 年 10 月に就任した石破首相は、今年度の補正予算案に闇バイト対策を盛り込む方針を明らかにしたほか¹⁸¹、警視庁も X の公式アカウントを通じて、闇バイトへの加担を踏みとどまるよう動画を配信するなど若者への呼びかけを強化している<図表 7-3 7>。2023 年には、検挙人員の半数 (49.6%) が SNS 経由で「闇バイト」に応募しており¹⁸²、受け子の 19.8%、5 人に 1 人が少年であった¹⁸³。若者が犯罪組織に言葉巧みに騙されているという社会問題の側面もあるが、片や日常の楽しい出来事を SNS に投稿し友人との繋がりを維持しながら、他方では SNS のリプライや DM を使って犯罪行為に応募し、指示者とやり取りを続けられる彼らは、アカウントごとに分割された多重人格の人生を確かに生きているのかもしれない。

図表 7-3 7 警視庁の注意喚起動画



(出典) 警視庁公式 X、2024 年 10 月 18 日

¹⁷⁷ 総務省「平成 23 年版 情報通信白書」(2011 年 8 月)

¹⁷⁸ 前掲注 171

¹⁷⁹ 前掲注 171

¹⁸⁰ 東京都特殊詐欺被害防止特設サイト「進化する闇バイト勧誘の手口」

¹⁸¹ NHK「石破首相 闇バイト対策を今年度の補正予算案に盛り込む考え」(2024 年 10 月 22 日)

¹⁸² 警察庁「令和 5 年における特殊詐欺の認知・検挙状況等について(確定値版)」(2024 年 5 月)

¹⁸³ 前掲注 182

◆リアル・アナログへの回帰と憧憬 ～反発と循環のカルチャーの中で～

科学技術やデジタル技術は進歩していくが、人間の価値観から生み出されるそれぞれの時代の文化の中には、前時代への反発とさらに前の時代への憧憬、そしてそこから生まれる循環がある。

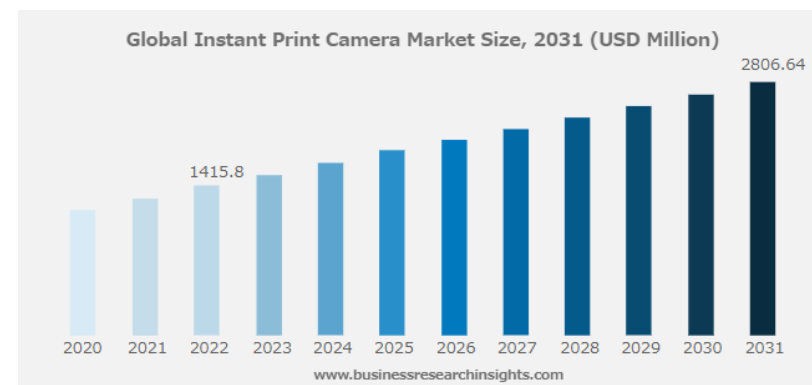
例えば、ファッションのトレンドは20年周期と言われるが、その循環性は、オートクチュールのコレクションの世界だけでなく、若者を中心に生み出される大衆のストリートファッションにも当てはまる。日本における1920年代から2000年代のストリートファッションでは、相反するトレンドが10年で交互し、約20年で循環していると分析されている¹⁸⁴。最近ではY2Kファッション¹⁸⁵や平成レトロの流行が記憶に新しい。

この循環性、すなわちリバイバルブームは、衣服だけでなく若者を中心としたポップカルチャーにも当てはまる。例えば、こだわりコーヒーを1杯ずつ人の手によって淹れるサードウェーブのコーヒーブームがある¹⁸⁶。日本の喫茶店では当たり前の光景だったが、そこへ行かない年代層には大手チェーンの流れ作業で提供されるコーヒーに対する一種のカウンターカルチャーとして、サードウェーブの手仕事新鮮に映った。

他にも、インスタントカメラが国内外で復権している<図表 7-38>。2000年代に入り、携帯電話やスマートフォンの普及により、いつでもどこでも写真や動画が撮れて、気に入らなければ撮り直しも加工も可能な時代になった。約20年経過して、リアルな瞬間を切り取り、加工が困難で、写真の出

来上がりも待たねばならないアナログな写真撮影が、今、世界の若者に面白く新鮮に見えているのだ。

図表 7-38 世界のインスタントカメラ市場の成長予測



(出典) Business Research Insights

いずれのブームの背後にも、過度にデジタル化された社会への反動と、新しさとして見直されたリアルとアナログへの回帰、憧憬がある。

インスタントカメラブームを牽引する機種の一つが FUJIFILM の instax である。もちろん、昔のポラロイドカメラの単なる復刻ではなく、ポラロイドの特徴は残しつつ、デザインや機能面での進化はある<図表 7-39>。唯一無二のアナログ価値と最新デジタル技術の融合¹⁸⁷と位置づけられる本製品は、2023年度のコンシューマーイメージング事業2,976億円のうち、1,500億円以上を上げる収益の柱となっている¹⁸⁸。

¹⁸⁴ 渡辺明日香「ストリートファッション論 日本のファッションの可能性を考える」(2011年)

¹⁸⁵ 2000年頃のファッション、の意。直近では、Y2KをアレンジしたY3Kというワードも存在する。こちらは3000年頃の未来感あるエッセンスを取り入れたファッションを指す。

¹⁸⁶ サードウェーブは2000年前後に米国で興ったが、日本への到達には時差があり、ブルーボトルコーヒーが上陸した2015年に始まったとされる。(UCC「サードウェーブとは」およびINIC MARKET「サードウェーブコーヒーとは?成り立ちや特徴をご紹介」(2021年2月1日))

¹⁸⁷ 富士フイルムホールディングス「2024～2030年度中期経営計画 VISION2030」(2024年4月17日)

¹⁸⁸ 富士フイルムホールディングス「2024年3月期決算説明会」(2024年5月9日)。1,500億円は2024年度の目標額だったが、1年前倒しで実現した。なお、イメージング事業全体では4,697億円の売上。

図表 7-3 9 FUJIFILM の instax



(出典) FUJIFILM instax ホームページ

図表 7-4 0 画像投稿 SNS「BeReal」

スマホの背面カメラとインカメの両方で、ほぼ同時に画像が記録される。

スポーツブランドやサッカークラブチ、ハイブランドなども公式アカウントを保有。

<注意事項（抜粋）>

- ・BeReal はフィルター（加工）なしのリアルライフをシェアするアプリです。
- ・BeReal を通じて友達にリアルな自分を見せるチャンスです。
- ・BeReal は TikTok や Instagram と違い、インフルエンサーを目指すアプリではありません。
- ・BeReal はフォロワーの数や認証されているかどうかなどは全く気にしません。

(出典) 筆者が BeReal を使用

SNS の世界でも、繋がりと承認が過剰に求められるライフスタイルや、加工されすぎた投稿への反動が起きている。BeReal は画像投稿を行う SNS だが、徹底的に Instagram や TikTok の真逆を行っている<図表 7-4 0>。

BeReal では、初回の投稿のみ任意のタイミングで撮影できるが、それ以降は、1 日 1 回ランダムに撮影指令の通知が届き、それから 2 分以内に撮影した写真を投稿しなければならない。画像の加工はできず、また、自身が投稿を行わなければ、他のユーザーの投稿も見られないため、何の変哲もないリアルな瞬間の画像での繋がりを要求するアプリとなっている。フォロワー数や「いいね」の数は開示されず、他人と比較される要素も無い。Android では既に 1000 万件以上ダウンロードされており、BeReal への企業アカウントの進出も始まっている。

今から 20 年ほど経つと、ちょうど 2050 年の到来が見えてくる。デジタル社会への反発が、時にはその時代のトレンドを生む。今日、リアルやアナログの希少性を伝えるものとして復権したアイテムは、少し姿を変えて 2050 年頃にまた流行している可能性がある。私たちはいくつもの人格を操る忙しくて繋がりがすぎるデジタルの時代に疲れていることを無意識に察知している。ポラロイドの写真が浮かび上がるのを待つあいだ、一杯ずつ丁寧にコーヒーを淹れる——そんな時間の過ごし方を知っている人が、2050 年のオシャレな人の姿かもしれない。また、そうした時間を過ごせる仲間の前が、ありのままの生身の自分として振る舞える数少ない機会となっているのかもしれない。